

おくむら・おおなかりレーコラム

# おくむら・おおなかりレーの日常

Daily of Satoshi Okumura

おくむら・おおなかりレー 文 buchicho-club <http://www.s-okumura.com/>

ワイルドカップがはじまりました。頭の中は「W杯」でいっぱい！でも、ここでサッカーを語ってもしょうがない。というわけで今月のテーマは「トップウォーター」。そろそろ南湖は、トップウォーター最盛期ですよ!!

## トップウォーターとW杯 頭の中はこの2つが占拠

寒い寒い「4月」が過ぎ、そして寒い寒い「5月」が過ぎ、暑い暑い日が続いている「6月」でございませす。先日、この暑さでワタクシ、久しぶりに「熱中症」になりました。日頃、湖上でゲストさんがそうならないかと注意を払っていたり、自分がないかのように対処法も知っていたのですが、陸上のちよっとしたイベント参加だったので、気が緩んでしまったようです。お恥ずかしい…

ちなみに「熱中症予防」として、しっかりと睡眠、十分な水分補給、首筋を日光から保護する、黒い服を着ない、この4つを行っていたらほぼ防ぐことができますよ！

さて6月。ボクの頭の中は「W杯」と「トップウォーター」でいっぱいになっています。でも、ここで「W杯」を語っても仕方がないので、今回は「トップウォーター」について語ってみようと思います。

ボクの考えでは、トップウォーターでちゃんと釣れ出すのはゴールデン

ウィーク明けくらいです。それ以前にも釣れる可能性はありますが、再現性を考えるとちょっと不安定な部分があります。そんな中、最初にバスが反応し出すのが「ポッパー」。ポッパーといえば最大の特徴である「ポップ音」に注目がいきがちですが、「ゴールデンウィーク明けのアフタースポーン状態のバスを狙うときは「ステイ」で食わせられる能力も忘れたらあきません。

つまり、ゴールデンウィーク明け直後からしばらくアフタースポーン状態のバスを狙うときは、ポップ音でバスに存在感を示して興味を引き、ステイで浮かせて食わせます。ですので、いかにきつちりとメリハリをつけてポップ音とステイを織り交ぜられるかが大切になってきます。動くときは動く！止まるときは止まる！それができれば、「フワ〜」とバスが浮いてきて「ポチヨ〜」と静かにバイトしますよ。そんなこんなで、ポッパーの「浮かせ釣り」の次は、連続した動きに反応し出す時期がやってきます。それが梅雨入り前後です。その頃にな

るとバスは活発にバイトを追求しようになります。そんな状態のバスを狙うのですから、連続した動きでリアクション的に狙うほうが効率がいいですよ。ということで、「ペンシルバイト」の出番です。ペンシルバイトの連続した左右のドッグウォークで、フィーディングモードのバスをガンガン釣っちゃうわけです。

で、実は「ポッパー」にしても「ペンシルバイト」にしても、琵琶湖南湖で使うにあたってとても大切な要素があります。それは「ラトル音」。広大なウィードフラットエリアで使出し、その中からバスを誘うわけですから、「ラトル音」による存在のアピールがとっても大切なのです。さらにややこしい話をするので、さらにややこしい話をすると、より反応のいいラトル音は「不規則でやや低音」、そんな感じですね。ってことで、この原稿がみなさんのもとに届く頃には間違いなく梅雨入りしているはず。そうならば待ちに待った琵琶湖南湖でのトップウォーターの最盛期です。雨だから釣りに行かない…でももったいないオバケが出てきますよ！

## 琵琶湖南湖でのイチオシのトップウォータース♪



邪道…ヘビーポッパーGP サイズから想像できないポップ音での存在感。そして、小さなシルエットで食わしてしまいます。



邪道…ジャンタルラッパー この夏の新作。左右の「ウイングアーム」によって必要な動きと移動距離を抑えバスを誘います。



邪道…サミーGP・100ツイン ノッカー 「アス」を呼ぶラトル音」を追求して作ったペンシルバイト。ステイを入れずに連続アクションで！



O.S.P. YAMATO Jr. ポッパーとペンシルバイトの中間に位置するルアー。ポッパーとペンシルで迷ったらコレ！